

平成26年度 事業報告書

平成26年度においては、JR各社のご助成と鉄道弘済会のご援助により計画した事業を予定どおり実施することができました。

各事業の概況は次のとおりです。

1. 低利融資事業（第一種社会福祉事業）

身障者の生活を維持向上させるため、経済的に援助することを目的として、昭和27年に開始されました。

当時、国鉄から200万円、鉄道弘済会から400万円のご寄付をいただき資金が設けられました。その後、鉄道弘済会からの特別助成等により、現在資金は5,904万円となっております。

なお、前年同期に比較して貸付残高件数は3件の減、金額で、1,024千円の減となっております。

2. 更生相談事業（第二種社会福祉事業）

中央及び地方協会が相談に応じた実績は下表の通りである。

方法・内容	融資	生活	職業	年金等	医療	補装具	就学	共済他	計
面接	3	1	0	3	20	60	0	11	98
通信	6	26	1	56	8	57	0	294	448
訪問	1	28	0	11	1	2	0	79	122
計	10	55	1	70	29	119	0	384	668

(注) 取扱期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

前年同期に比べ117件の減となっており、相談件数の合計は668件でした。これは、主に東日本鉄道身障者協会の共済他相談（通信）が減少した結果です。

3. 顕彰事業（公益を目的とした事業）

(1) 身障者下山賞表彰は、昭和24年故下山国鉄総裁のご遺族から贈られた寄付金をもとに、国鉄の業務上の事故により身体に障害を負った者の自立の努力による功績を顕彰するために設けられたものであります。

当年度は、第65回を迎え、10月24日弘済会館（東京都千代田区・麴町）において6名の方々の表彰を行いました。

なお、受賞者には協会から賞状と記念品が贈られたほか、JR各社から記念品が、また鉄道弘済会から記念品と賞金が贈られました。

東日本鉄道身障者協会	吉田	實氏	84歳	左下腿切断	業災・4級
東日本信越鉄道身障者協会	長谷川	石太郎氏	91歳	左大腿切断	公傷・4級
東日本東北鉄道身障者協会	須田	庄治氏	85歳	左下腿切断	公傷・4級
西日本鉄道身障者協会	丸矢	紀生氏	77歳	左下腿切断	業災・4級
西日本中国鉄道身障者協会	福増	満氏	71歳	右下腿切断	業災・4級
九州鉄道身障者協会	黒木	邦重氏	85歳	左肩胛関節切断	業災・2級

(2) 鉄道90年記念奨励賞の表彰は、昭和37年鉄道開業90周年の記念事業として設けられた顕彰行事で、当時国鉄から300万円、鉄道弘済会から200万円のご寄付を頂き、これを基金として創設されました。

現在基金は1,133万円となっております。

当年度は、第52回を迎え次の方々が受賞されました。

また、席上「鉄道90年記念奨励賞」に該当した5名の方々の発表を行い、平成2年度から協会運営に功績のあった者の表彰である「鉄道身障者福祉協会 功労者」表彰では13名の受彰者の発表を行った。

なお、今年度各号の特集記事は、次のとおりです。

今年の受賞者は、次の方々ですが、第4号懸賞作品の課題は、【「身近にある小さなバリア」について考えてみよう】で応募総数は93篇でした。入賞と佳作の作品は、当協会発行の身障者福祉専門誌「リハビリテーション」平成26年11月号（No. 568）に掲載しました。

第52回鉄道90年記念奨励賞受賞の選考

地方協会から推薦を受けた第3号善行及び第4号の懸賞作品について、平成26年8月20日開催の選考委員会において、次の方々を受賞者と決定した。

種別	氏名	年齢	障害状況	職業	協会名
第3号善行	桑野 嘉典氏	70歳	左大腿中央部・右下腿切断	無職	九州鉄道身障者協会

第4号 懸賞作品課題 【「身近にある小さなバリア」について考えてみよう】

種別	氏名	年齢	障害状況	職業
第1位	野本 知恵子氏	59歳	脊髄損傷による完全骨折	料飲店勤務
第2位	栗林 悦子氏	55歳		公務員
第3位	中川 正志氏	63歳	ギランバレー症候群による両手指機能障害	人事・人材開発コンサルタント
第3位	西崎 めぐ美氏	53歳		自営事務

なお、第4号の第1位入賞者は、辻理事長から、第2位・第3位は、郵送にて表彰状と賞金が贈呈されました。

4. 出版事業

当協会の発行する身障者福祉専門誌「リハビリテーション」は昭和28年に創刊して当年度末で571号を数えます。

発行回数は年10回で毎号あたり3,500部発行している。

なお、公益財団法人鉄道弘済会のご援助をいただき、全国の施設・JR各本社及び主要駅等にも贈呈を行っている。

平成26年 4月号 (No562) 会報・機関紙(誌)・広報紙(誌)

— 組織黎明期の情報伝達 — ②

平成26年 5月号 (No563) 会報・機関紙(誌)・広報紙(誌)

— 組織黎明期の情報伝達 — ③

平成26年 6月号 (No564) さらになる学門のススメ ①

平成26年 7月号 (No565) さらになる学門のススメ ②

平成26年8・9月号 (No566) たのしもう!障害者スポーツ ①

平成26年10月号 (No567) たのしもう!障害者スポーツ ②

平成26年11月号 (No568) 懸賞作品特集

「身近にある小さなバリア」について考えてみよう

平成26年12月号 (No569) たのしもう!障害者スポーツ—③

平成27年 1月号 (No570) ボランティアについて考えてみよう—①

平成27年2・3月号 (No571) ボランティアについて考えてみよう—②

5. 義肢製作費補助事業

鉄道従事者に肢切断による公務障害者が多いことから、鉄道弘済会では義肢を製作する場合に障害者本人が負担する経費を補助する制度を設けていましたが、当協会の会員の利用が多いことなどから昭和62年に制度の移管を受けたものです。

当年度中の取扱件数は53件で、給与した金額は723千円となっております。

これは前年度と比較して件数は1件の減少、金額は41千円の減少となっております。

6. 共済事業

現在基金は、46,330千円です。

平成27年3月末日現在の加入率は97%で給付実績は件数で97件、金額で1,540千円であり、前年同期比では、件数で16件の減、給付金額で380千円の減となっております。

内訳で見ると、弔慰金で17件の減、金額では350千円の減、傷病見舞金は6件の増、金額では60千円の増です。

7. JR会社増収協力活動

かねてより当協会会員に対し、JR会社への増収協力を呼びかけておりますが、地方協会でも工夫を重ね旅行会を実施する等努力をしております。

当年度中の実績は次のとおりです。

(単位：千円)

期別	件数	延人員	金額
上期分	631	1,611	18,767
下期分	872	1,685	20,718
26年度計(A)	1,503	3,296	39,485
25年度計(B)	1,416	3,919	45,254
増減(A)-(B)	87	△623	△5,769

資金収支計算書

(自平成26年4月1日至平成27年3月31日)

(単位:千円)

勘定科目		予 算	決 算	増 減
事業活動	収 事業活動収入計	50,064	52,329	△ 2,265
	支 事業活動支出計	48,674	48,688	△ 14
	事業活動資金収支差額	1,390	3,641	△ 2,251
施設整備等	収 施設整備等収入計			
	支 施設整備等支出計			
	施設整備等資金収支差額			
その他	収 その他の活動収入計	13,373	△ 3,773	17,146
	支 その他の活動支出計	13,360	△ 3,773	17,133
	その他の活動資金収支差額	13		13
予備費支出		381		381
当期資金収支差額合計		1,022	3,640	△ 2,618
前期末支払資金残高		158,901	158,333	568
当期末支払資金残高		159,923	161,973	△ 2,050

事業活動計算書

(自平成26年4月1日至平成27年3月31日)

(単位:千円)

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増 減
サービス活動	収益 サービス活動収益計	50,985	48,192	2,793
	費用 サービス活動費用計	48,825	47,807	1,018
	サービス活動増減差額	2,160	385	1,775
サービス活動外	収益 サービス活動外収益	1,343	1,599	△ 256
	費用 サービス活動外費用計		19	△ 19
	サービス活動外増減差額	1,343	1,580	△ 237
経常増減差額		3,503	1,965	1,538
特別増減	収益 特別収益計	△ 3,793	5,784	△ 9,577
	費用 特別費用計	△ 3,773	5,784	△ 9,557
	特別増減差額	△ 20		△ 20
当期活動増減差額		3,484	1,965	1,519
繰越活動	前期繰越活動増減差額	21,838	18,929	2,909
	当期末繰越活動増減差額	25,322	20,894	4,428
	基本金取崩額	762	944	△ 182
	次期繰越活動増減差額	26,084	21,838	4,246

貸借対照表

(平成27年3月31日)

(単位:千円)

勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	164,406	177,334	△ 12,928
徴収不能引当金(△)	△ 701	△ 701	
固定資産	10,859	10,995	△ 136
資産の部合計	175,265	188,329	△ 13,064
流動負債	1,634	18,203	△ 16,569
負債の部合計	1,634	18,203	△ 16,569
基本金	149,542	150,284	△ 742
次期繰越活動増減差額	24,089	19,842	4,247
(うち当期活動増減差額)	△ 21,342	6,338	△ 27,680
差引純資産	173,631	170,126	3,505
負債及び純資産合計	175,265	188,329	△ 13,064

注1) 平成25年度から新会計基準に移行。

注2) 共済会計(特別会計)と合算。

注3) 千円未満切捨て

財産目録（総括）

（平成27年3月31日）

（単位:千円）

資産・負債の内容	合計
I 資産の部	
1 流動資産	164,404
現金預金	96,114
現金	177
普通預金	95,935
振替預金	2
有価証券	64,793
未収金	1,342
雑誌広告料・購読料・貸付利子	
前払金	
貸付金	2,291
仮払金	565
徴収不能引当金	△ 701
流動資産合計	164,404
1 固定資産	10,859
(1) 基本財産	10,461
基本財産特定預金	10,461
(2) その他の固定資産	398
ソフトウェア	398
固定資産合計	10,859
資産の部合計	175,263
II 負債の部	
1 流動負債	1,634
未払費用	1,426
預り金	208
雑誌広告料・購読料・貸付利子	
前受金	
流動負債合計	1,634
2 固定負債	
固定負債合計	0
負債の部合計	1,634
差引純資産	173,629

注1) 平成25年度から新会計基準に移行し、共済会計(特別会計)と合算している。

注2) 千円未満切捨て

監事監査報告書

平成27年5月25日

社会福祉法人 鉄道身障者福祉協会
理事長 辻 等 殿

1. 理事の業務の執行状況について

次の理事会における理事の業務の執行状況について把握した。

- (1) 平成26年度第1回理事会 (平成26年5月29日)
- (2) 平成26年度第2回理事会 (平成26年9月8日)
- (3) 平成26年度第3回理事会 (平成26年10月23日)
- (4) 平成26年度第4回理事会 (平成27年2月18日)
- (5) 平成26年度第5回理事会 (平成27年3月12日)


2. 法人の財産について

- (1) 財産目録 (平成27年3月31日現在)
- (2) 貸借対照表 (平成27年3月31日現在)
- (3) 資金収支計算書 (自平成26年4月1日至平成27年3月31日)
- (4) 事業活動計算書 (自平成26年4月1日至平成27年3月31日)

以上、平成26年度の社会福祉法人鉄道身障者福祉協会の事業報告書、財産目録、貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動計算書については、関連する法令及び通知に従った監査の結果、適正に執行されていると認めます。

社会福祉法人 鉄道身障者福祉協会

監事

杉本貞夫 

監事

奥田明光 